

# 医理系の研究って、 すっごく/おもしろい!



国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業

「女性研究者」がどんな研究をしているか興味はありませんか？このイベントでは、午前は第一線の女性研究者の方々から、これまでの歩みや研究活動内容などについてお話いただきます。そして午後のサイエンスカフェでは、もっと身近に研究者の研究内容について学び、医学部学生の先輩方とおしゃべりしましょう！

## 開催日時

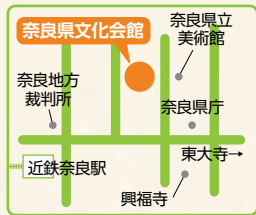
平成26年1月11日(土)

10時開始 (開場9時30分、終了予定16時)

## 開催場所

### 奈良県文化会館

奈良県奈良市登大路町6-2  
近鉄奈良駅1番出口より東へ徒歩約5分



## プログラム

### 【午前の部】

10:00 ~ 10:05

挨拶 公立大学法人 奈良県立医科大学 理事長 吉岡 章

10:05 ~ 11:05

講演 「私の進んできた道、そしてこれから」

大林 千穂 (奈良県立医科大学教授)  
森本 恵子 (奈良女子大学教授)

11:05 ~ 12:00

パネルディスカッション

「女性が医理系分野で研究するには」

根津 智子 (奈良県郡山保健所長)  
水野 文子 (奈良県立医科大学細菌学教室講師)  
須崎 康恵 (同 第二内科学教室学内講師)  
植栗 千陽 (同 産婦人科学教室助教)  
(コーディネーター)  
吉田 昭三 (同 産婦人科学教室助教)

### 【午後の部】

13:10 ~ 16:00

サイエンスカフェ

(コーディネーター)

御輿 久美子 (奈良県立医科大学女性研究者支援センター特任教授)  
須崎 康恵 (同 第二内科学教室学内講師)  
吉田 昭三 (同 産婦人科学教室助教)  
(リーダー)  
王寺 典子 (同 細菌学教室助教)  
岡本 希 (同 地域健康医学教室講師)  
辰巳 晃子 (同 第二解剖学教室准教授)  
豊田 ふみよ (同 第一生理学教室講師)  
松吉 ひろ子 (同 第二生理学教室助教)  
山内 晶世 (同 生化学教室助教)

参加費  
無料

手話通訳あり  
(午前の部)

### 定員

午前の部：計250名  
中・高校生の方(女子優先)  
保護者・教員の方

事前申込  
先着順

午後の部：60名  
中・高校生の方(女子優先)  
(当日は6グループに分かれて参加いただけます)

大林 千穂 (奈良県立医科大学 病理診断学講座 教授)

奈良医大を卒業後、一貫して大規模病院の病理医として全ての診療科から提出される臓器・組織を観てきました。治療の方向性を決める、重要な役割を果たしており、診療と研究は表裏一体です。専門である肺癌領域では近年遺伝子異常が次々に判明し、これに対する分子標的薬が開発されていますが、診療の現場ではまず的確に診断をしなくてはなりません。免疫組織化学、分子生物学的検査(FISH 法や RT-PCR 法)をどんな患者さんを対象に、どの段階で、どう使えばよいのか、そんな実践的な診断学を研究しています。



森本 恵子 (奈良女子大学大学院 生活環境科学系 教授)

医学部卒業後、大学院では循環生理学を専攻しました。大学院修了に当たり基礎医学者が臨床医か進路に悩んだ末、循環器内科の研修医の道に進みました。ですが、その後、幾つかの岐路を経て、現在は生活健康学専攻の女子大生に医学的な観点から健康学について教育しています。また、女性ホルモンのエストロゲンが精神性ストレスによる血圧上昇を抑制する機序について女子大生と研究しています。



主催



内閣府

男女共同参画推進連携会議



公立大学法人奈良県立医科大学



一般社団法人奈良県医師会



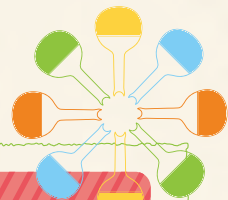
一般社団法人大学女性協会奈良支部

後援

奈良県 奈良県教育委員会  
一般社団法人奈良県病院協会

奈良県私立中学高等学校連合会  
株式会社奈良新聞社

# サイエンスカフェリーダー紹介



## 辰巳 晃子 (第二解剖学教室 准教授)

幼いころから虫が嫌いでしたが、毛虫が蝶となる事に衝撃を受けました。生き物の形が劇的に変わる事にとっても興味を抱き、理学部生物学科へ進みました。現在は、脳の中の色々な環境によって細胞の形が変わっていく様子を毎日驚いています。脳の病気の治療に少しでも役立てるように研究を進めています。



## 豊田 ふみよ (第一生理学教室 講師)

私は子供の頃から水陸両用生活ができる両生類に興味を持ってました。中でもアカハライモリはあらゆる臓器が再生可能という驚くべき能力に加え、雄が雌の前で尾を振るという特徴的な「求愛行動」で有名です。私はアカハライモリの求愛行動を起こすメカニズムや性フェロモンについて調べ、多くの哺乳類と共通する一方で両生類独自の進化を遂げていることを明らかにしました。



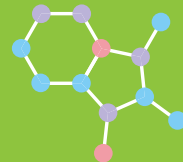
## 岡本 希 (地域健康医学教室 講師)

歯学部卒業後、臨床医として勤めていました。しばらくすると、臨床を通して疑問に思ったことを自分で調べたいという気持ちが強くなってきました。今は、基礎医学の研究者、臨床医、看護学・栄養学・スポーツ医学の専門家たちとの共同研究で、高齢者4,000名の健康調査を実施して、長寿の秘訣を探る研究をしています。



## 山内 晶世 (生化学教室 助教)

理学部化学科を卒業し、超分子を応用した新しい分析法の研究をしてきました。超分子とは、複数の分子が協同的に働くことで一分子とは異なる機能をもつ複合体のことで。現在は、糖尿病の治療・予防を目指して、血糖値を下げる働きをもつホルモンであるインスリンを分泌する膵(すい臓)β細胞の増殖について研究しています。



## 王寺 典子 (細菌学教室 助教)

高校の頃、単純に化学と数学が好きでしたので薬学部に進学しました。薬学部在学中に「腫瘍免疫」の講義を受け、「免疫っておもしろい」と思い大学院修士課程に進学しました。大学院修士課程で研究中に、抗原特異性に関わる主要組織適合性抗原について興味をもち、現大学の博士課程に進学しました。現在も主要組織適合性抗原に関する研究を続けています。



## 松吉 ひろ子 (第二生理学教室 助教)

医師になりたいと思い医学部に進学しましたが、実験が好きで、現在は、尿を貯めたり排泄したりする膀胱の機能とそれを調節する神経のはたらきについて研究しています。子どもの夜尿症や高齢者の尿漏れ・頻尿等の治療を確立し、患者様の生活の質を向上させることが目標です。



参加申込みはコチラから↓



<http://www.telepac.jp/narascience/>



締切は  
1月6日(月)  
必着

ふりがな 氏名	-----	所 属	<input type="checkbox"/> 学生 ( 中学・高校 年生) <input type="checkbox"/> 保護者 <input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> その他
住 所		参加希望 プログラム	<input type="checkbox"/> 午前のみ <input type="checkbox"/> 午後のみ <input type="checkbox"/> 終 日
電 話	(        )        -	そ の 他	*午後サイエンスカフェで特に参加したい内容があればご記入ください また、その他にご質問や何か伝えておきたい事などあればご記入ください
E-mail	@		



03-6434-0540

受付窓口：NPO 法人高度情報通信都市・計画シンクタンク会議 (TEL：03-6434-0530)  
いずれかの方法で参加お申し込みください。  
ご連絡いただいた個人情報は、当該イベントの運営事務にのみ使用し催事終了後は速やかに破棄いたします。